
開講科目名：管理会計特殊研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：宮城 厚志

《授業の概要》

《授業の概要》

1. 前期講義の概要

前期講義の目的は、一般に理解されている学術的な管理会計論に対して、実務から生まれたともいえる管理会計論（京セラ稲盛会長のアメーバ経営に用いられる管理会計システム論：以下「アメーバ管理会計論」）の基礎知識の習得に努めることにある。アメーバ管理会計論は「時間当たり採算制度」と呼ばれ、学術的な管理会計論とは一線を画している。そこで本講義は、学術的な管理会計論と比較することによって、アメーバ管理会計論の特質を理解できるよう講義する。講義方法としては、京セラ稲盛会長の著書をを用いながらアメーバ管理会計の基礎となる7つの基本原則を学ぶ。前期講義では、稲盛会長の著書を通してアメーバ管理会計論の基礎知識の内容を理解することに努める。

具体的な講義内容は、以下を予定している。

（前期）

- 1 財務会計論と管理会計論の相違
- 2 アメーバ管理会計の7つの基本原則
- 3 キャッシュベース経営の原則
- 4 一対一対応の原則
- 5 筋肉質経営の原則
- 6 完璧主義の原則
- 7 採算向上の原則（時間当り採算制度とは）
- 8 採算向上の原則（売価還元法による経営）
- 9 ガラス張り経営の原則
- 10 全員参加型経営とは
- 11 アメーバ経営の哲学
- 12 アメーバの組織づくり
- 13 時間当り採算制度（部門別採算の考え方）
- 14 時間当り採算制度（収入・経費・時間の捉え方）
- 15 アメーバ管理会計の基礎知識のまとめ

2. 評価方法

ディスカッションでの発言及びレポート内容を総合的に勘案して評価する

《テキスト》

3. テキスト

テキストは『稲盛和夫の実学（経営と会計）』（日本経済新聞出版社）
『アメーバ経営』（日本経済新聞出版社）を使用する。

《参考書》

4. 参考書

『アメーバ経営の進化?理論と実践?』（アメーバ経営学術研究会編）
『管理会計』櫻井通晴（同文館出版）